

養護教諭の 新たな役割について



大宜見 洋文 議員

答 ソーシャルワーク（SW）のスキルを身につけるのは大変重要である

問 養護教諭は学校内でのケース会議、こども課との会議に参加しているか。
教育長 必要な個別ケース会議に参加している。

問 町内小中校の養護教諭は、連携する協議会があるか。
学校教育課長 毎月、町の養護教諭連絡会を開催している。

問 児童生徒の不登校あるいは登校しぶりの早期対策に、養護教諭の利活用はどうか。
学校教育課長 学校では教育相談会という校長、教頭、養護教諭を含めた会議を開催している。それ以外にはほかの関係機関との会議でも連携して、課題解決に当たっている。

問 養護教諭がSWのスキルを身につけることで子供の孤立対策とも連携できると思うがどうか。
こども課長 子供の孤立、貧困対策では、一人でも多く子供のことを理解する、あるいは

SOSを感知するスタッフが多数いることが、子供の安心安全につながる。それも踏まえて児童厚生員もSWのスキルを身につけるようにと、今年度児童館ガイドラインが改正される。そういう意味から、学校でSOSを感知する、子供の様子がわかる養護教諭がSWのスキルを身につけるのは大変重要と思う。

問 こども課元気支援員とも連携は成り立っているか。
学校教育課長 連携はしっかりととれていると考える。

こども課長 子ども元気支援員は、毎週キッズ会議を行っている。また月1回の教育委員会との会議は役場の中で会議が主である。学校へ出向き養護教諭と直接情報交換はない。

問 不登校も増えていて、もっと連携できれば、早期発見につながるのではないか。
教育長 一人として全く同じケースはない。最初から何か

こんな質問もしました

- セクハラ・パワハラ問題を問う
- はえばる大学を問う
- 「日本老年学的評価研究」について
- 教員の多忙解消について
- ちむぐくる館の健康器具の劣化に対する対応策は



▲週一回のキッズ会議の様子。

をやるうという連携ではなく、ケースバイケースで対応していく。個別の状況を解決するには、対処療法的になり集まるメンバーも違う。今は十分連携できている。